

**製品名: ダイニン LC 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10229**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DNAL1
別名	DNAL1; C14orf168; Dynein light chain 1; axonemal
遺伝子 ID	83544.0
SwissProt ID	Q4LDG9
免疫原	抗血清はヒト DNAL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

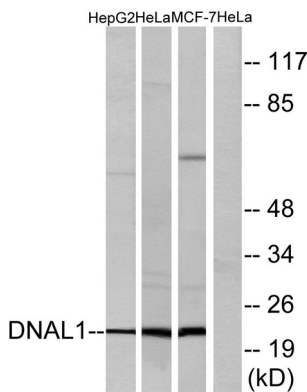
この遺伝子は、外ダイニンアーム複合体の構成要素として機能する軸系ダイニン軽鎖をコードしています。この複合体は、ATP 依存的に繊毛を動かす力を提供する分子モーターとして機能します。コードされているタンパク質は、運動性繊毛または鞭毛を持つ組織

で発現し、精子鞭毛の運動に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011 年 1 月],類似性: ダイニン軽鎖 LC1 型ファミリーに属します。、類似性: 4つの LRR (ロイシンリッチ) リピートを含みます。、サブユニット: DNAH5 と相互作用します。、組織特異性: 精巣などの運動性繊毛を持つ組織で発現します。、

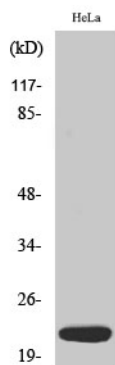
## 研究分野

ハンチントン病;

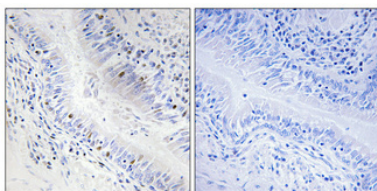
## 画像データ



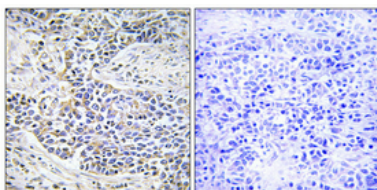
DNAL1 抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞、MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ダイニン LC 1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。